

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	1	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
ほ場整備事業					

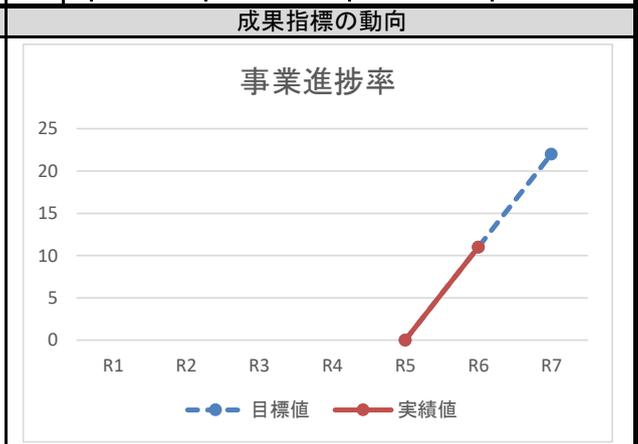
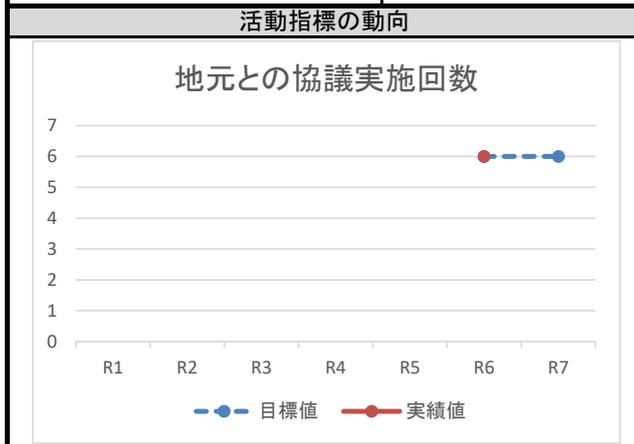
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	1	5	4	ほ場整備事業	
担当課・係等					
農政課基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
		耕地区画の整備、用排水路の整備、農道の整備、耕地の集団化を実施し、労働生産性の向上を図り、農村の環境条件を整備する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農地の大区画化等の基盤整備を実施することで、集積・集約を加速させ、農業意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円				5,016	5,016	4,400			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円				5,016	5,016	4,400			
	人工数	人				0.4					
	人件費	千円				3,194					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
事業の促進を図るため地元や関係機関と協議し事業の進捗を図る。	地元との協議実施回数	回	目標値		0	6	6
			実績値			6	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
			目標値		0	11	22
農地の大区画化等の基盤整備を実施し、集積・集約を加速させ、農業意欲が高まる。	事業進捗率	%	実績値		11		



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	1	1	ほ場整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	1	5	4	ほ場整備事業

整理番号
403020201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・ほ場整備事業基本構想図作成業務委託(八幡原地区)を発注し、地元団体やコンサルとの協議を6回行ったことで、基本構想図を作成した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・土地改良実施に係る地元作成の計画について、地元団体・担い手・地権者の共通認識が必要となる。
 ・県営事業採択まで長期間の時間を有し、業務委託項目が多いことから市負担額が大きくなる。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

・千葉県と連携し、地元協議を実施し事業を推進する。
 ・補助金の活用が可能となる項目を確認し、効率的に事業を推進する。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	05	01	用排水施設整備事業	
担当課・係等					
農政課 基盤整備係					

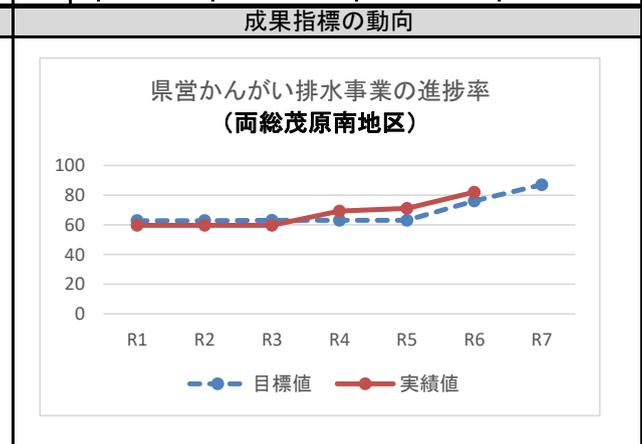
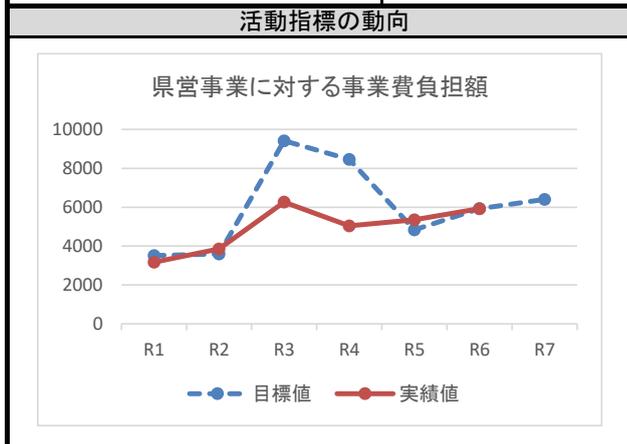
実施計画整理番号	
301010301	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。	農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費の負担をする。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。用排水施設整備事業を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	34,359	55,777	54,859	26,455	26,455	19,905			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	21,900	21,900	35,100	16,600	16,600	10,700			
	その他	千円									
	一般財源	千円	12,459	33,877	19,759	9,855	9,855	9,205			
人工数	人		0.49		0.35						
人件費	千円		3,754		2,795						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> 県営事業の整備促進を図るため、事業費負担を実施する。 用排水施設整備を実施する。 	県営事業に対する事業費負担額	千円	目標値 8,466 実績値 5,037	4,842 5,350	5,923 5,863	6,408
	用排水施設整備の件数	件	目標値 2 実績値 4	1 5	2 2	2
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
安定した用水を供給することにより農業経営の安定を図る。	県営かんがい排水事業の進捗率(両総茂原南地区)	%	目標値 63 実績値 69	63 71	76 82	87



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	1	3	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	01	用排水施設整備事業

整理番号
301010301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業の整備促進のため事業費負担を実施し、用排水施設整備を2件行った。 ・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の整備には多額の費用を要することから、計画的な事業実施に努める必要がある。 ・引き続き、県営事業や国の交付金を活用することでコスト縮減を図る必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な事業実施のため、地元関係者及び関係機関との連携に努める。 ・国、県の交付金活用のため、より一層の情報収集に努める。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 用排水施設整備により生産基盤の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き、交付金活用によるコスト削減に努めるとともに地元関係者及び関係機関との連携に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設維持管理費					

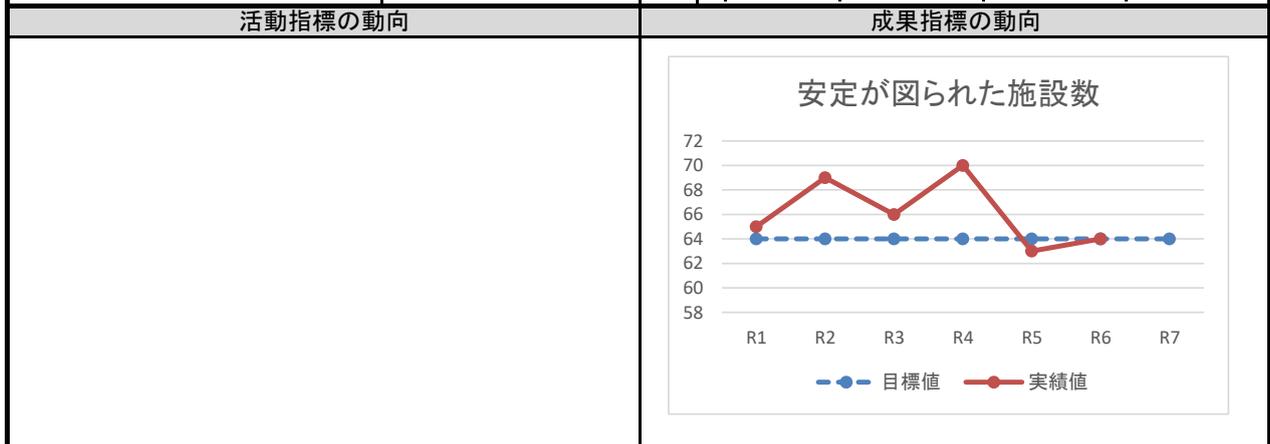
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	06	用排水施設維持管理費	
担当課・係等					
農政課 基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010302	
総合戦略整理番号	

事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	土地改良区・水利組合・自治会等の共同施工者が管理する農業用施設の維持管理費に対し、地元施工者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	55,421	56,867	54,512	48,465	49,788	49,027		
国補助		千円									
県補助		千円	26,633	26,633	25,957	25,567	25,567	25,403			
市債		千円									
その他		千円	8,825	8,825	8,100	4,418	4,418	3,945			
	一般財源	千円	19,963	21,409	20,455	18,480	19,803	19,679			
	人工数	人	0.94			1.35					
	人件費	千円	7,202			10,780					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
土地改良区・水利組合・自治会等の共同施工者が管理する農業用施設の維持管理費に対し、地元施工者の負担軽減を図るため、地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付する。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農業用施設の維持管理費に対し、地元施工者の負担軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	安定が図られた施設数	目標値	64	64	64	64
		実績値	70	63	64	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	1	3	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

整理番号
301010302

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農業団体が管理する農業用施設64か所について、維持管理に対する補助等を実施した。 ・地元自治会や関係者への説明、協議を行っている。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も老朽化施設の増加に伴うコスト増が予想される。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	引き続き、地元関係者と連携を図るとともに、農業用施設の計画的な維持管理について、適切な補助金交付により農業基盤の安定を図っていく。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 引き続き適正な補助金の交付に努め、農業基盤の安定を図っていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画						
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名	
3	1	2	2	農林業	農地の確保	
実施計画事業名						
農業経営基盤強化促進事業						

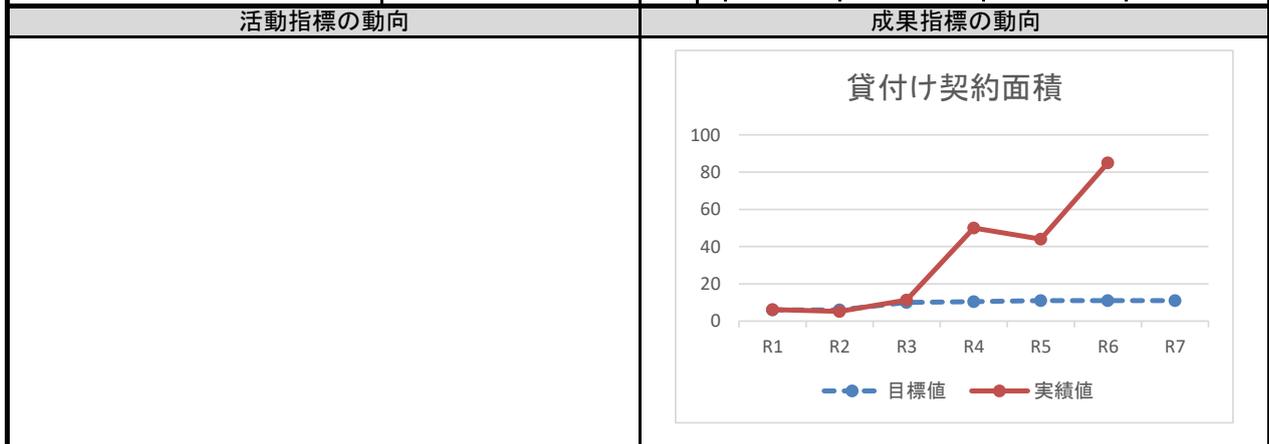
予算科目						
款	項	目	事	事業名		
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業		
担当課・係等						
農政課 農地保全係						

実施計画整理番号	
301020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農地中間管理機構を利用して農地の集積・集約を推進することで、耕作放棄地の発生抑制が図られ、農地の保全につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市農業振興地域整備促進協議会を開催し整備計画変更協議をする。 ・農地中間管理機構を利用した者に対して協力金を交付する。 ・担い手への利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農地中間管理事業を実施することで、農地の集積・集約が図られ、農業経営の基盤強化を促進し営農意欲が高まり、ひいては施策「農地の確保」に寄与する。		

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	345	345	203	2,572	2,572	2,072		
国補助		千円									
県補助		千円	42	42	32	1,900	1,900	1,914			
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	303	303	171	672	672	158			
	人工数	人	0.09			0.7					
	人件費	千円	690			3879					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、専門職員を配置することで担い手への集積を強化し、耕作放棄地の抑制や解消を図り、優良農地の確保に努める。また、担い手への利子補給を行う。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
耕作放棄地の発生抑制が図られ、今後も営農が行える農地の保全へとつながる。	貸付け契約面積	h	11	11	11	11
		a	50	44	85	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	2	2	農業経営基盤強化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業

整理番号
301020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・令和3年度より農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、農地を貸し付けた地域及び個人を支援しているが、令和4年度より茂原市機構集積協力金として、地域計画を策定した区域または地域計画の策定に向けた協議の場を設けている区域で農地中間管理機構へ貸し付ける場合に交付している。令和6年度は箕輪地区へ交付。</p> <p>・農地中間管理機構利用による集積は77.361haとなった。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・農地中間管理機構との業務委託契約により、担い手の農地集積・集約の推進が図られた。</p> <p>・農地の貸し借りをを行う際に詳細な条件面でのマッチングが合わないケースや、既に耕作放棄地となっているなど現状により事業対象農地とならないといったことがあった。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>農地中間管理事業の周知を強化することにより、より多くの様々な条件の農地を集め、母数を増やすことで、マッチングがうまく進むよう努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>引き続き農地中間管理機構との業務委託契約により、農地の保全に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	3	3	農林業	経営体と担い手の育成
実施計画事業名					
農業者育成支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	09	農業者育成支援事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

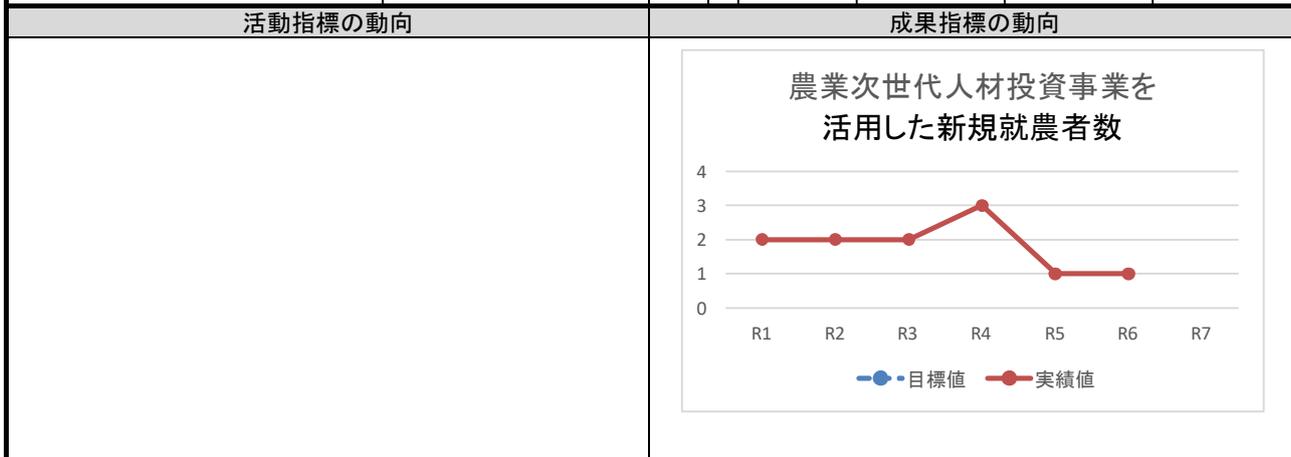
実施計画整理番号	
301030301	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	新規就農者には技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、国の新規就農総合支援事業を活用し、農業次世代人材投資事業の資金の交付を行い、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業次世代人材投資資金を交付する。 チラシでの周知や千葉県立農業大学校での事業周知を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するにあたり、新規就農者を増加させる必要がある。新規就農するにあたって、就農直後の所得の確保が課題となっていることから、就農に向けた経営開始資金の交付を行うことで、新規就農者の増加につなげ、ひいては施策「経営体と担い手の育成」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	15,000	26,418	25,665	21,735	21,735	11,400			
	国補助	千円									
	県補助	千円	15,000	26,418	25,665	21,735	21,735	11,400			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円									
	人工数	人		0.67		0.67					
	人件費	千円		5,134		5,350					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
茂原市のPR及び新規就農促進を図るため、チラシでの周知や千葉県立農業大学校に伺い茂原市の魅力を伝えることで、新規就農者確保に努める。		目標値					
			実績値				
		目標値					
			実績値				
成果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
担い手不足の解消及び新規就農者確保につなげる。	農業次世代人材投資事業を活用した新規就農者数	人	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	3	1	1	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	3	3	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

整理番号
301030301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より新たに就農した1名を含む認定新規就農者9名に農業次世代人材投資資金を交付した。 ・千葉県立農業大学校に出向き、啓発等を行った。 ・県長生農業事務所改良普及課等のサポートチームと連携して新規就農者と面談等を行い、適切に就農しているかの確認と技術的な指導を行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・市では現状、農業に関する専門的知識を有する職員や農業者に対しての研修機能が無いので、技術的な相談等を受けることが難しい。また適切に就農できるかの見極めが難しい。</p>		

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・令和7年度より「長生農業独立支援センター」に加入し、専門的知識を有する職員による新規就農者への技術的指導や情報提供等、包括的な支援や受け入れ体制の拡大を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>引き続き適正に資金の交付を行うとともに、長生農業独立支援センターとの協働により新規就農者の増加に努めていただきたい。</p>

今後の方向性 (ACTION)

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	1	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
需給調整推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	01	需給調整推進事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

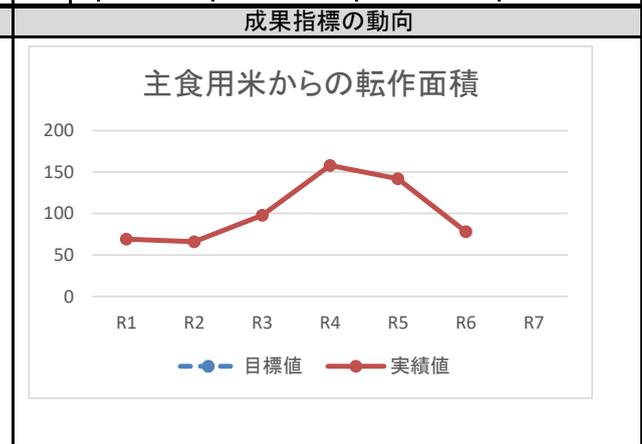
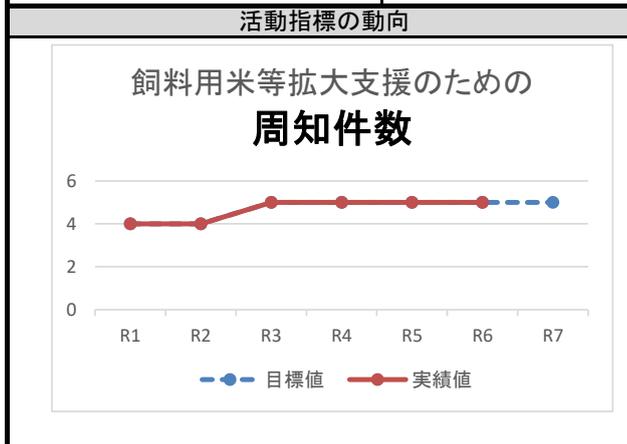
実施計画整理番号	
301040101	
総合戦略整理番号	

事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>茂原市地域農業再生協議会及び農業者に対して、新規需要米の作付けなど需要に応じた米の生産や、転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組を推進し、農業者の経営改善を目指す。</p>	<p>茂原市地域農業再生協議会に需要に応じた米の生産や転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組推進・確認のための事務経費の補助、取組を実施した農業者には対象となる経費の補助を行う。 新規需要米等の転作に取り組む生産者に対し補助金を交付する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

茂原市地域農業再生協議会や農業者に対して経費等の補助を行うことで、需要に応じた米の生産や転作作物作付けによる食料自給率向上の取組の推進を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	10,750	10,750	8,348	9,523	5,470	5,420			
	国補助	千円									
	県補助	千円	6,593	5,555	4,618	5,378	2,952	2,944			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,157	5,195	3,730	4,145	2,518	2,476			
	人工数	人	0.97			0.97					
	人件費	千円	6,678			7,204					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農家組合と連携を図りながら、パンフレットの配布や集落等への説明会を実施し、飼料用米等拡大支援事業や経営所得安定対策の推進に努める。	飼料用米等拡大支援のための広報等による周知件数	目標値	5	5	5	5
		実績値	5	5	5	
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
主食用米から、飼料用米等への作付けによる農業者の経営改善が図られる。	主食用米からの転作面積	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	158	142	79	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	4	1	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

整理番号
301040101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・需要に応じた米の生産が図られるよう、国の経営所得安定対策事業や飼料用米等の取り組みを推進した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<p>C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・米価の回復もあり、主食用米以外の作物に取り組む農業者が大幅に減った。今後も米価の動向を注視しつつ事業の取り組みを進める必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・主食用米の価格が大幅に回復し、他の作物に取り組む農業者は大幅に減ると考えられるが、条件の悪いほ場でも作付出来る飼料用米等は農地の有効利用を図る上でも効果的であり、米の需要に応じた生産を図りつつ、制度の普及を図っていく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>引き続き適正に補助金を交付するとともに、制度の普及に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	2	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
稲作生産効率化促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

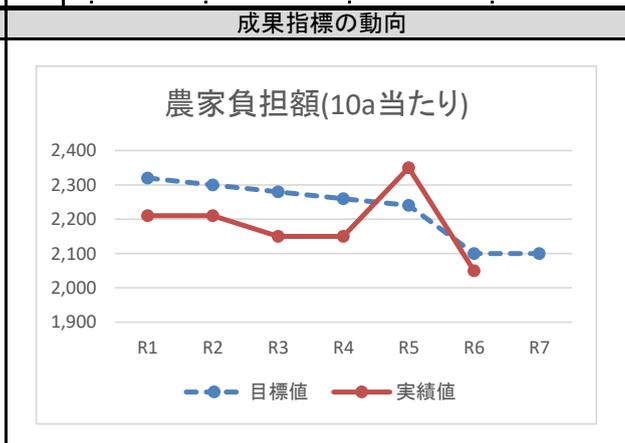
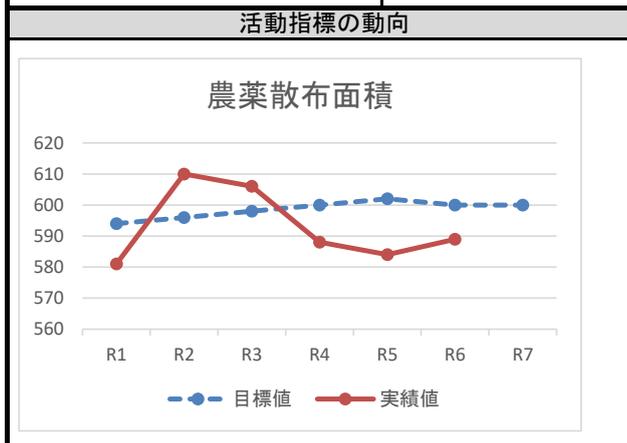
実施計画整理番号	
301040201	
総合戦略 整理番号	

事業 事業の 概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施することで農作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 産業用無人ヘリコプターによる病害虫防除を実施する。 農家負担額を長生郡内で同一水準にするよう補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

本市における農地全体の8割は水田になっており、米の生産には作業の手間暇が多いため作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る必要がある。個人による水田の農業散布の実施については、水田の面積が多く個人による農業散布は重労働であり時間もかかることが課題となっていることから、本市が散布農地を取りまとめ短期間で一括して産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施し作業の効率化を図ることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。

投入される 行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	3,083	3,083	3,083	4,247	4,247	4,247		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	3,083	3,083	3,083	4,247	4,247	4,247			
	人工数	人	0.67			0.67					
	人件費	千円	4,578			4,951					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施するにあたり最大の効果と効率を図る為、航空防除の必要性を農家に広く周知し農業散布面積の拡大に努める。	農業散布面積	h	600	602	600	600
		a	588	584	589	
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農家負担額を減らし、更に取り組みやすい空中散布につなげる。	農家負担額(10a当たり)	円	2,260	2,240	2,100	2,100
			2,150	2,350	2,050	
			目標値			
			実績値			



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	4	2	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

整理番号
301040201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・産業用無人航空機(ドローン)による農薬の空中散布を589ha実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・航空防除に関する委託内容の見直しを図り、各農家組合員の立ち合いを不要とするなど省力化を図った。また従前のヘリコプターからドローンへ切り替えたことにより薬品のロスが減り、農家負担金の低減につながった。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・品質の高い米を安定的に生産していくために、産業用無人航空機(ドローン)による航空防除を引き続き実施していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> 引き続き適正な補助金の交付と、航空防除を遅滞なく行っていただいた。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	3	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
園芸農産振興事業					

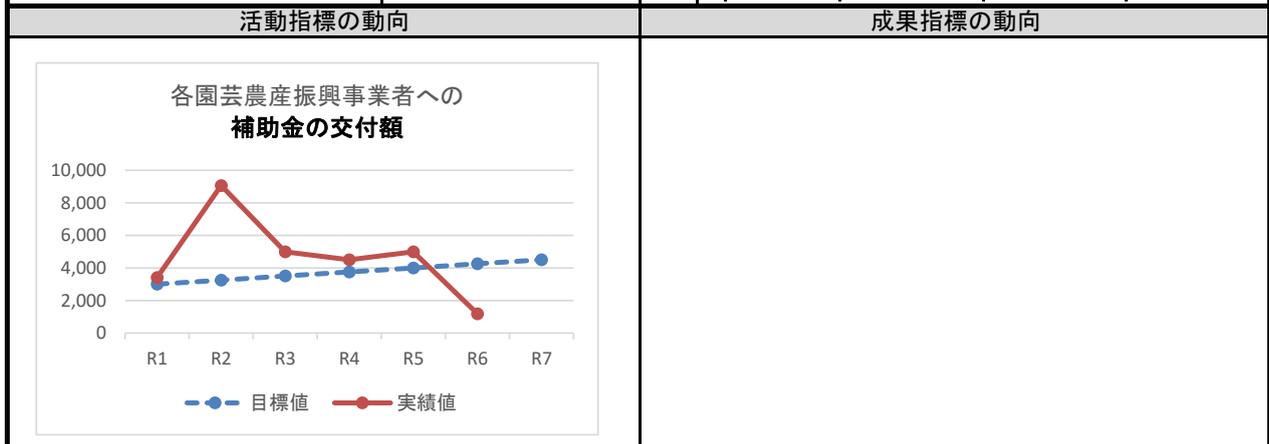
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	04	園芸農産振興事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301040301	
総合戦略 整理番号	

事業 事業 の 概要 (P L A N)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>良質な農産物を生産するためには機械化による生産の効率化が必須となっている。また、現在使用している機械の老朽化も激しく、各生産組合の生産者は高齢化も進んでいる。各組合を支援して産地間競争を制する産地化を目指す。農業活動において排出される廃プラスチックの適正な処理を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各生産組合が実施する施設設置や機械導入、農業振興事業に対して補助金を交付する。 茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する適正な廃プラスチック処理に対し補助金を交付する。
	<p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>農業従事者の高齢化が急速に進展する中、現在使用している機械や園芸用の施設の老朽化が激しく、良質な農産物を生産するにあたり、機械化及び施設園芸の高度化により生産を効率化させる必要がある。各生産組合に対して支援をして、既存産地の生産力の向上及び産地力の強化につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。</p>	

投入 される 行政 コスト (D O)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源 内訳	事業費	千円	1,067	1,067	499	4,359	4,359	1,185		
国補助		千円									
県補助		千円	150	150	23	3,703	3,703	712			
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	917	917	476	656	656	473			
	人工数	人		0.28		0.28					
	人件費	千円		2,145		2,236					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して広く補助の周知に努める。	各園芸農産振興事業者への補助金の交付額	千円	目標値	3,750	4,000	4,250	4,500
			実績値	4,499	4,989	1,185	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
既存産地の生産力の向上及び産地力の強化を図る。			目標値				
			実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	4	3	園芸農産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業

整理番号
301040301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 生産力強化等に取り組むために機械等の整備を行う生産組合に対し補助金を交付した。 茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する適正な廃プラスチック処理に対し補助金を交付した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 担い手の不足、高齢化は続いており、営農を継続するためにも省力化や効率化を期す機械の導入、更新は必須である。 農業活動において排出される廃プラスチックの適正処理は必要不可欠であり、引き続き適正処理を促進していく必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 農業用機械の導入・更新は営農を続けていくうえで大きな課題であり、生産力強化等を期す機械の導入、更新に対し補助を行うことで営農を継続させ、地域農業を維持させていく。 廃プラスチックの適正処理を行う協議会に対し補助を行い、適正処理を促進していく。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	引き続き適正な補助金の交付に努めるとともに、制度の周知に努めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	4	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
畜産振興事業					

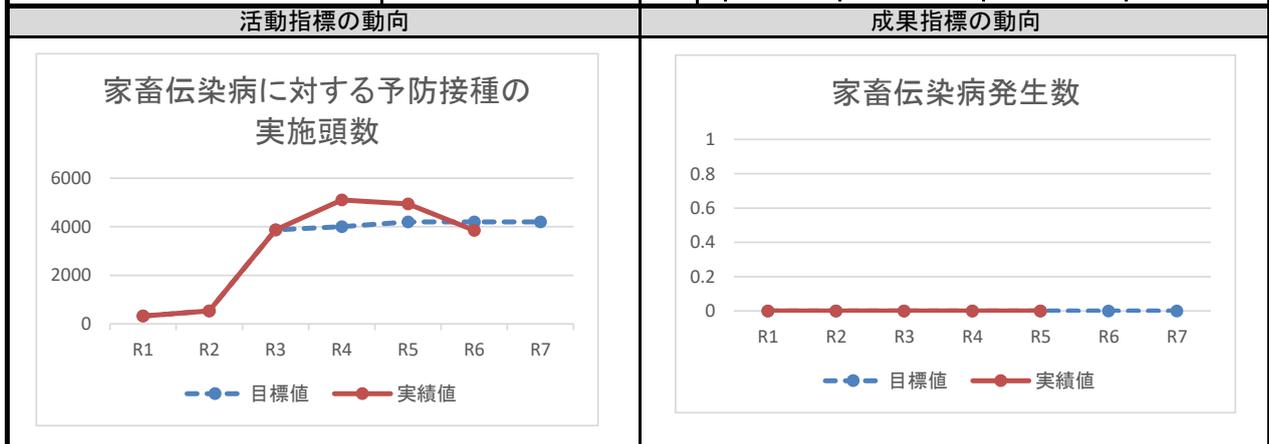
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業
担当課・係等				
農政課 振興係				

実施計画整理番号	301040401
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	畜産の振興を図るとともに、家畜伝染病に対する自主的な防疫活動を推進して畜産経営の安定を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自衛防疫の一環である予防接種費用に対する補助を行う。 畜産団体の運営に対する補助や支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
家畜伝染病の予防接種費用や畜産団体の運営に対する補助を行うことで、畜産振興及び経営の安定を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	、引き続き予防	千円	557	557	498	450	450	450			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	557	557	498	450	450	450			
	人工数	人		0.23		0.23					
	人件費	千円		1,762		1,837					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
家畜伝染病に対する予防接種を実施し、自主的な防疫活動の推進に努める。	家畜伝染病に対する予防接種の実施頭数	頭	4,000	4,200	4,200	4,200
			5,103	4,940	3,848	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
家畜伝染病の発生を未然に防ぎ、畜産経営の安定を図る。	家畜伝染病発生数	件	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます
			0	0	0	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	4	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

整理番号
301040401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・牛アカバネ病、牛3種混合、豚熱の予防接種に対する補助を実施した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病については発生すると壊滅的な被害を被るため、引き続き予防接種に対する補助を実施し家畜伝染病の発生を防いでいく。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き予防接種に対する支援を実施し、家畜伝染病の発生を防いでいく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	
引き続き予防接種に対し適正な支援を実施し、家畜伝染病の発生防止に努めていただきたい。		

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	5	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
環境にやさしい農業推進事業					

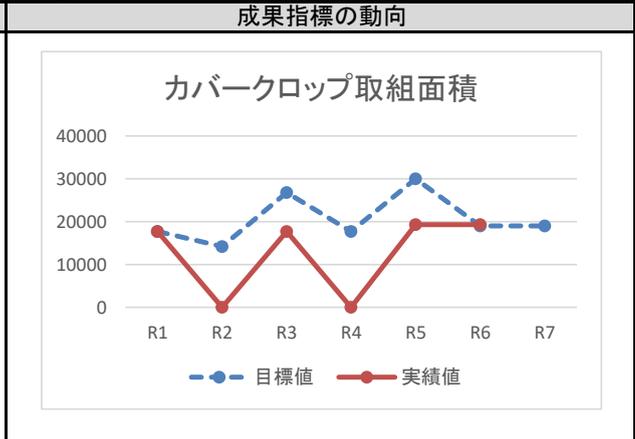
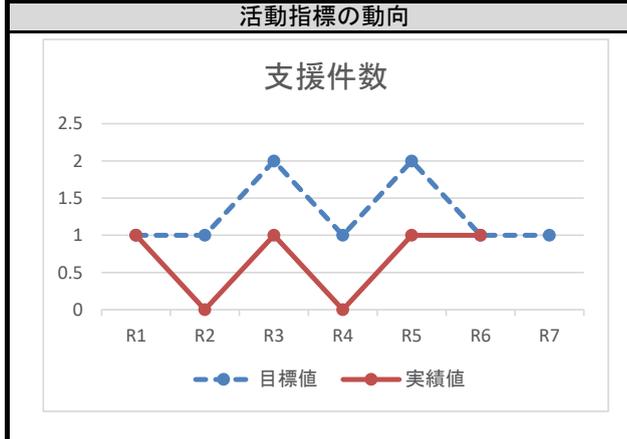
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	301040501
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農業の持続的発展を図るためエコファーマーの認定促進や有機農業などの環境にやさしい農業を推進する。また、環境負荷の軽減に配慮した営農活動に取り組む農業者団体等の追加的コストを支援し、環境にやさしい農業の推進を図る。	自然環境の保全に資する農業生産活動を実施する生産者や農業者団体に補助金(交付金)を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業の持続的発展を行っていくために有機農業や緑肥などの地球環境にやさしい農業への取組をする農家に対して支援を行う。持続可能な農業への取組に協力することにより結果として施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	も取り組み者は	千円	120	120	116	116	116	116			
	国補助	千円									
	県補助	千円	90	90	90	86	86	86			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	30	30	26	30	30	30			
	人工数	人	0.18			0.18					
	人件費	千円	1,379			1,437					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
環境にやさしい農業の推進として、カバークロップに取り組む農家に対して支援を行う。	支援件数	件	1	2	1	1
		目標値	0	1	1	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		カバークロップ取組面積	17,700	30,000	19,000	19,000
環境負荷の軽減に配慮した営農活動を促進することで、農業の持続的発展が図られる。	※カバークロップとは…それ自体は収穫にならないが、土壌侵食防止や土壌改良に役立つ作物。	m ²	0	19,300	19,300	
		目標値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	4	5	環境にやさしい農業推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業

整理番号
301040501

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	カバークロップに取り組む1団体に対して交付金を交付して支援を行い、環境にやさしい農業の推進を図った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
・令和6年度においても取組団体は1団体にとどまった。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	・事業の周知を行い、取組団体の増加を目指していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 対象団体への支援を行うことで、農業経営の改善に一定の成果があったと認められるが、取組団体の増加に向けた周知等施策を検討していただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	6	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
有害鳥獣駆除事業					

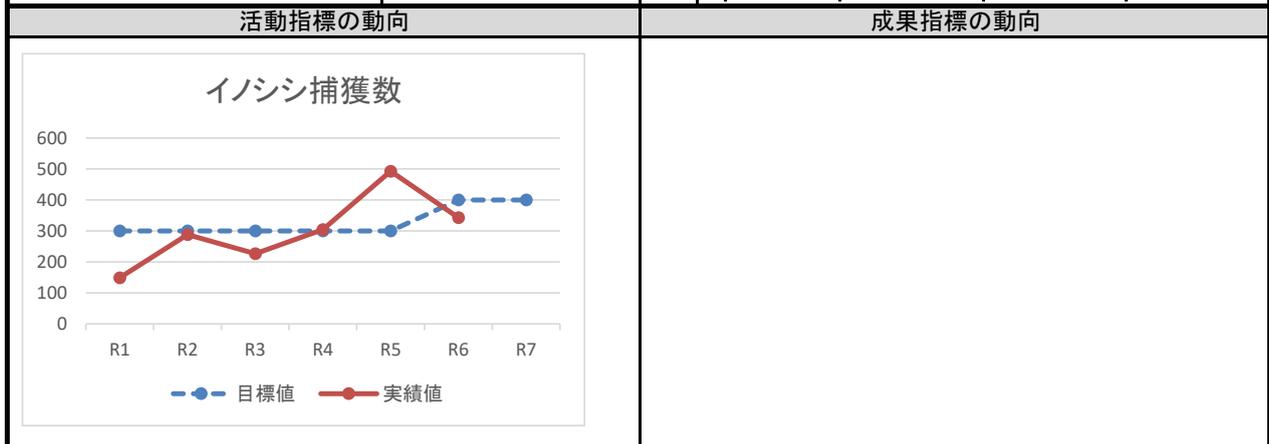
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業	
担当課・係等					
農政課 農地保全係					

実施計画整理番号	
301040601	
総合戦略 整理番号	

事業 事業の 概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	有害鳥獣による農作物被害、並びに生活環境の保全及び自然環境を保全するために、駆除や防除を行い、優良農地の保全を図る。 ・捕獲した野生獣の肉・毛皮などを使用した加工品などの副産物化を推進する。	・鳥獣被害防止対策推進協議会に負担金を交付することにより、捕獲や電気柵設置などの有害鳥獣対策を実施する。 ・加工品などの副産物化について調査研究を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか) イノシシをはじめとする有害鳥獣の被害が問題となっており、農家の収穫量の不安定化や営農意欲減退を招いている。有害鳥獣対策を実施することで、農地の掘り起こしや食害による農業被害の軽減が図られ、農家の収益安定につながり、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	25,354	25,952	25,917	29,228	29,228	28,649		
国補助		千円									
県補助		千円	9,450	9,450	9,853	7,195	7,195	7,986			
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	15,904	16,502	16,064	22,033	22,033	20,663			
	人工数	人	1.9			1.5					
	人件費	千円	14,558			11,979					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
猟友会や民間業者の鳥獣捕獲業務委託による駆除や電気柵による防除を行うことで、農作物被害の軽減を図る。	イノシシ捕獲数	頭	300	300	400	400
			304	493	343	
	電気柵設置面積	ha	7.8	7.8	7.8	7.8
			7.8	7.6	12.2	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
鳥獣捕獲による駆除や防除を行うことで、農作物被害を削減するとともに、優良農地の保全を図る。		目標値				
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	4	6	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

整理番号
301040601

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・有害鳥獣の捕獲活動として、猟友会及び狩猟等従事者、民間業者と連携し鳥獣捕獲業務を実施し、令和6年度はイノシシ343頭、ニホンジカ2頭、キョン1頭、アライグマ621頭、ハクビシン68頭、タヌキ134頭を捕獲した。</p> <p>・電気柵設置に要する材料費の補助を行い、令和6年度は11件、約12.2haの農地へ電気柵が設置され、野生獣による農作物被害を防止した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・イノシシ等の大型獣は毎年捕獲数にばらつきがあり、生息数や生息域の特定に至らず、完全に農作物被害を無くせてはいない。アライグマ等の小動物については、山林や農地周辺に限らず、住宅地を含む市内全域に生息しており、完全駆除は難しい。</p> <p>・捕獲従事者の高齢化が懸念され、将来的な捕獲従事者の確保が必要である。</p> <p>・捕獲したイノシシの処分を民間業者において食肉加工して処理しているが、継続的な処理を行うためには、出荷制限を受けて実施している全個体の放射性物質検査を解除してもらうことが喫緊の課題である。また、ジビエの普及も継続的な処理を行う上で課題となっている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・完全駆除に向けて広域的な連携を強化していく。</p> <p>・猟友会との連携により、新規従事者の確保に努める。</p> <p>・出荷制限の解除に向けて、国・県へ働きかける。</p> <p>・民間事業者と協力してジビエの普及に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>完全駆除については難しいものの、有害鳥獣対策により農業被害の軽減に一定の成果があったと認められる。引き続き、出荷制限解除の要望や猟友会、民間事業者など各関係団体と連携し、事業の実施に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	3	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
農産物直売所運営支援費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費	
担当課・係等					
農政課 振興係					

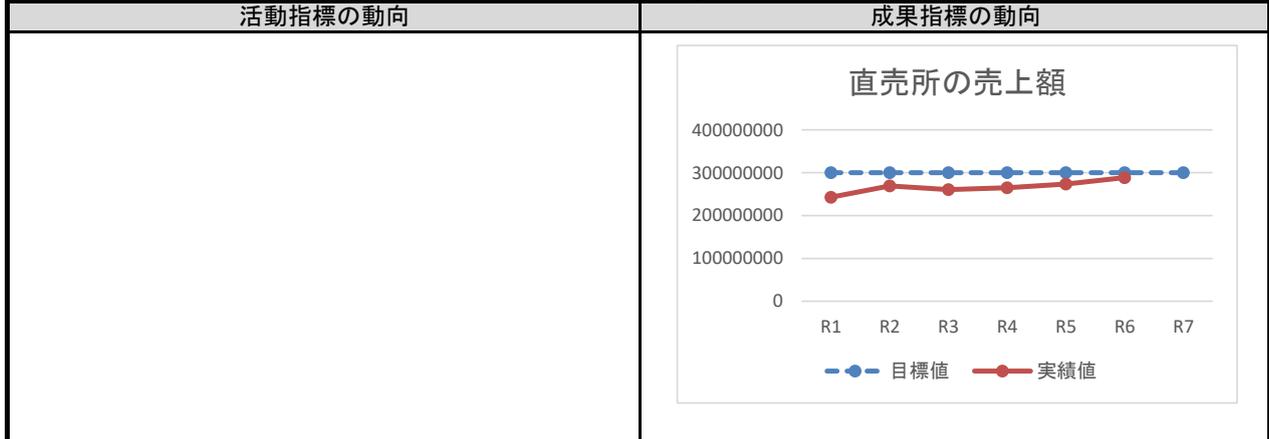
実施計画整理番号	
301050301	
総合戦略整理番号	12306

事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 消費者に地元で収穫された新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の充実を図られる。 直売所の需要に合わせた少量多品種の農作物生産を推進することで、生産者の所得安定と農業振興が図られる。 	<p>安定的な農作物の供給を図るため、直売所の適切な維持管理に努める。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

地元消費者に対し、地元で生産された安心安全な農作物を提供する場として農産物直売所の適切な維持管理を行う。また、さらなる充実を図ることにより、施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,972	1,972	1,958	1,972	1,972	1,958			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958			
	一般財源	千円	14	14		14	14				
	人工数	人	0.18			0.18					
	人件費	千円	1,379			1,437					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
直売所の安定的な運営を支援するため、継続して施設用地の借り上げを実施する。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値	300,000,000	300,000,000	300,000,000
生産者の所得安定と農業振興を図る。	直売所の売上額	円	実績値	265,037,104	273,173,622	288,497,316



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	5	3	農産物直売所運営支援費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費

整理番号
301050301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 直売所施設用地を借り上げるにより、直売所の安定的な運営を支援した。 運営上の課題などの把握に努め、必要に応じて助言を与えるなど支援を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> 売上は堅調に伸びているが未だ目標には達しておらず、アンケート等により顧客ニーズの分析等を行っていく必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度末に実施したアンケート結果を5月の理事会において共有し、今後の運営に活かしていく。 効果的なイベント(セール)等については、SNS等を活用して周知に努めるなどして新たな固定客を獲得し、今後の売上目標達成につなげていく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 引き続き直売所の運営支援に努めていただくとともに、利用者のニーズに合わせた運営方法の検討に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	4	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
茂原六斎市再活性化事業					

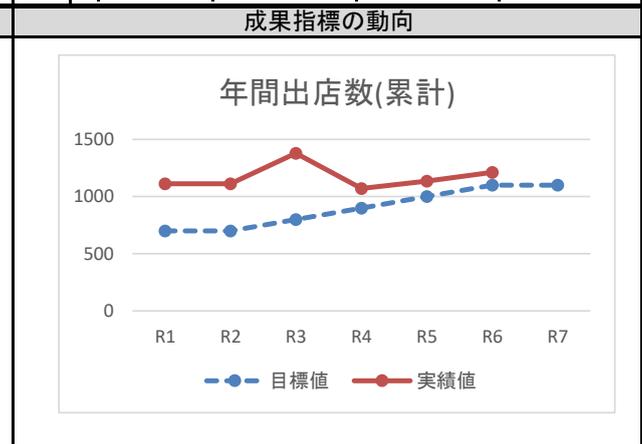
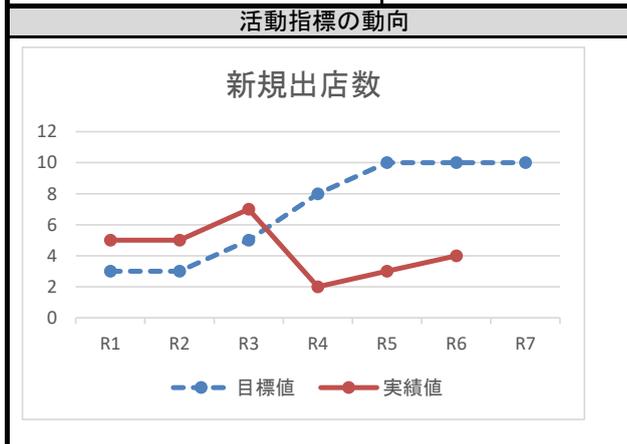
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301050401	
総合戦略	整理番号

事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原六斎市再活性化協議会が実施する様々な活動やイベント等により、歴史ある茂原六斎市の再活性化が図られる。農業者による新鮮野菜等の新たな販路となることで農業生産を豊かなものにする。	茂原六斎市再活性化協議会の実施する活動を推進するため補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業振興や、農業者の販路の一つとなるとともに、歴史と伝統ある「市」が、本市で行われていることで、地域活性化にもつながる。「市」の再活性化を支援することで、地域活性化につながり、ひいては施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	0	0	0	100	100	100		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	0	0	0	100	100	100			
	人工数	人	0.18			0.18					
	人件費	千円	1,379			1,437					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
六斎市の認知度向上を目指し、イベントの実施などでPRを行う。	新規出店数	店	目標値 8	10	10	10
			実績値 2	3	4	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
「市」が再活性化されるとともに、新たな販路拡大により農業者の意欲向上が図られる。	年間出店数(累計)	店	目標値 900	1,000	1,100	1,100
			実績値 1,071	1,135	1,212	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	5	4	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

整理番号
301050401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統ある六斎市のPRのため引き続き市役所内に横断幕を設置しPRに努めた。 ・3月に大六斎市を開催して多数の来客があるなど六斎市のPRにつながった。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・出店者の高齢化は依然続いており、若い世代への伝承が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・六斎市の認知度を上げるため、来客の見込めるイベント等を企画し開催する。 ・若い世代へのPRを狙いキッチンカーの参入を行う。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 横断幕の設置や大六斎市の実施により、「市」の再活性化に一定の成果があったと認められる。市公式SNS等の活用により若い世代への周知を行い、出店者の増加、ひいてはイベントの活性化に繋がるよう努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	6	1	農林業	林業の振興
実施計画事業名					
森林整備事業					

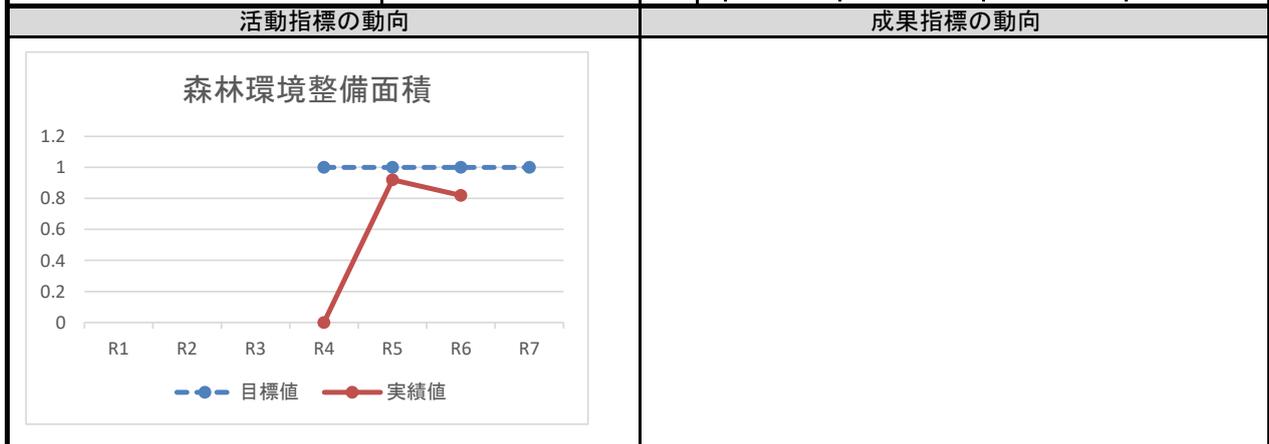
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	01	02	森林整備事業	
担当課・係等					
農政課 農地保全係					

実施計画整理番号	
301060101	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	森林環境譲与税を活用し、市内民有林の適切な保育・管理を行い、土砂災害の防止など森林のもつ公益的機能の向上とともに里山の保全が図られる。	森林整備計画の策定業務委託を行う中で、森林の現況を把握し、整備の指標となるゾーニングを明確にすることで、適切な間伐を行っていく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
市内人工林において、近年では整備の行き届いていない放置森林が増加し、整備を行う必要がある。森林環境譲与税を活用し土砂災害の防止など、森林の持つ公益的機能の保全に向けた森林整備、森林と林道の計画的な整備を行うことで、ひいては施策「林業の振興」に寄与する。		

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	11,839	11,839	11,866	14,574	13,785	13,526			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	11,820	11,820	11,847	14,574	13,782	13,524			
	一般財源	千円	19	19	19		3	2			
人工数	人		1.2			0.8					
人件費	千円		9,195			6,389					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
令和3年度に策定した森林環境整備基本計画を基に、森林環境整備業務委託を行い、市内人工林の整備を実施する。	森林環境整備面積	ha	目標値	1	1	1	1
			実績値		0.92	0.82	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
市内人工林の適切な管理・保全が行え、森林の持つ公益的機能が発揮される。			目標値				
			実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	1	6	1	森林整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	01	02	森林整備事業

整理番号
301060101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に策定した森林環境整備計画及び令和4年度に実施した森林環境整備意向調査業務委託結果に基づき、茂原市萱場の6筆の森林(面積0.82ha)において、伐採及び木材の搬出を内容とした業務委託を実施した。 次年度以降の森林環境整備を目的として、茂原市森林環境整備基金へ積立てを実施した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> 市内森林の現況把握ができておらず、手入れのされていない森林が多い状況にある。 風倒木により災害の危険のある区域についても、その詳細は把握していないため、民間企業と連携し、データ管理を行う必要性が求められる。 意向調査業務で間伐・植栽といった整備を市が実施することに同意を得られた箇所の伐採業務を実施するための調査・設計に時間を要する。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な森林環境整備を森林環境譲与税を活用して優先順位に基づき実施する。 設計業務委託を実施することで、職員の事務負担軽減や効率化を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 森林整備計画の委託により、林業の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き、森林環境譲与税の適正な活用に努めていただくとともに、事務の効率化について検討していただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	1	2	商工業・中小企業	商業基盤の整備
実施計画事業名					
商業振興対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	04	商業振興対策事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

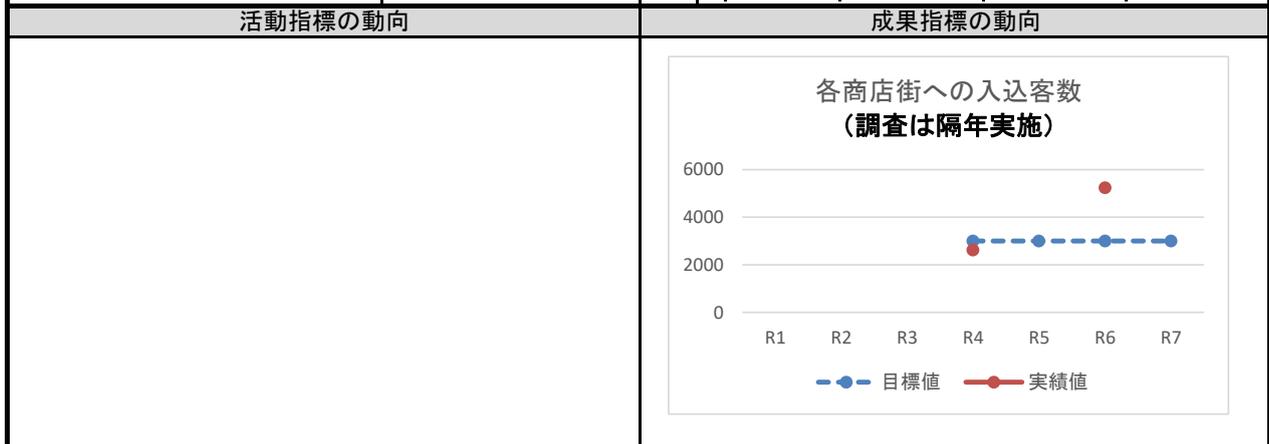
実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	12201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が共同で実施するソフト事業や施設整備を支援し、中心市街地の活気と賑わいを創出する。 ・商店街及び商業事業者を支援することで、本市の商業機能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が共同で実施する空き店舗対策等を支援する。 ・商店街が共同で設置する駐車場や街路灯などの施設に係る費用負担を軽減する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

商店街の環境整備や商業機能の充実に向けた取り組みを支援することにより、ひいては施策「商業基盤の整備」に寄与する

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	873	873	873	873	873	873			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	873	873	873	873	873	873			
人工数	人		0.25		0.25						
人件費	千円		1,915		1,996						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
商店街の環境整備や商業機能の充実に向けた取り組みに対し支援を行う	各商店街等へのニーズに応じた支援	目標値				
		実績値				
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
まちの活気とにぎわいを創出する	各商店街への入込客数(調査は隔年実施)	人				
		目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値	2,617	-	5,239	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	1	2	商業振興対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	商業振興対策事業

整理番号
302010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・共同施設の維持管理事業において商店街を支援し、安全・安心な商店街の形成に寄与した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・組織が弱体化し、共同施設の維持管理が難しくなっている。 ・商店街は衰退している。 ・商店街の遺物となりつつある共同施設について、安全確保のための対策が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が消滅する前提で、共同施設の他団体への引継等も視野に入れた対策が必要である。 ・数十年経過している街路灯が、破損し落下する事故が起きている。人命にかかわる可能性があるため、補助金の投入を行ってでも早急に改修する必要がある。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>共同施設の維持管理に対する支援により、商店街の環境整備に一定の成果があったと認められる。商店街のニーズの把握に努め、適切な環境整備に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	1	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
企業立地促進事業					

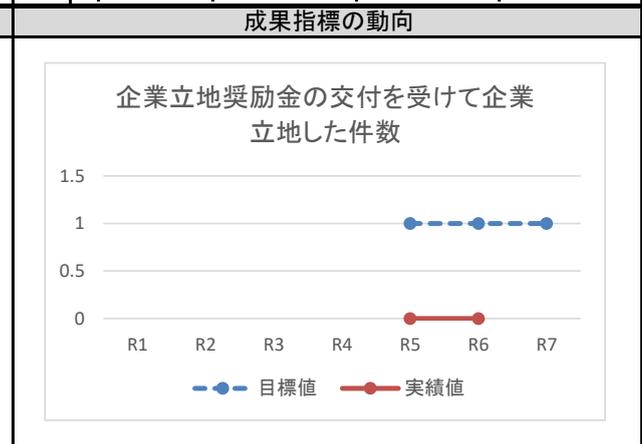
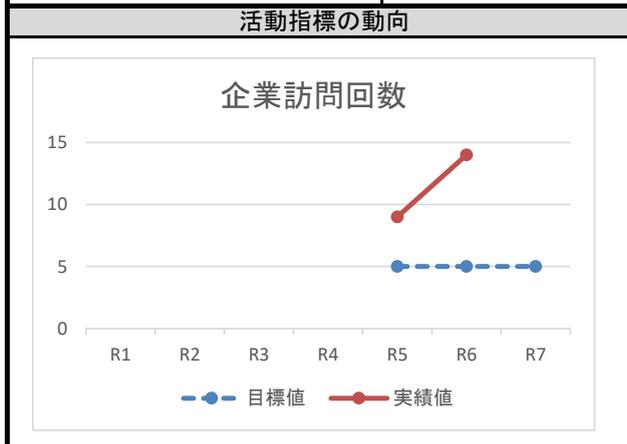
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	06	企業立地促進事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
302020101	
総合戦略 整理番号	11101

事務事業の概要 (PLAN)	企業訪問や企業誘致セミナー等の参加により情報収集を行った ・企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) ・企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。 ・進出した指定事業者に対し奨励金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	産業構造が大きく変化している中、新たな産業に対応した企業誘致の推進により地域全体の産業競争力を高め、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	企業誘致が出来る場所が	千円	50,406	406	13	377	377	349			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	50,406	406	13	377	377	349			
	人工数	人	1.2			1.2					
	人件費	千円	9,194			9,582					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。	企業訪問回数	回		5	5	5
				9	16	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	企業立地奨励金の交付を受けて企業立地した件数	件		1	1	1
				0	0	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	2	1	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	06	企業立地促進事業

整理番号
302020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問や企業誘致セミナー等の参加により情報収集を行った。 		
	有効性の評価	効率性の評価	
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致が出来る場所がない。 ・企業誘致について、提供できる立地が必要である。 ・立地について、適地調査及び可能性調査を実施し、官民が協力して誘致できる産業用地が必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用地適地選定調査及び企業ニーズやパートナー募集のための可能性調査の実施。 ・成田空港滑走路増設完了を期限とした、産業用地造成の完了。(売り出し開始) 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	
企業立地に繋がるよう、企業のニーズを踏まえた事業の検討に努めて いただきたい。		

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	2	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
産業育成促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

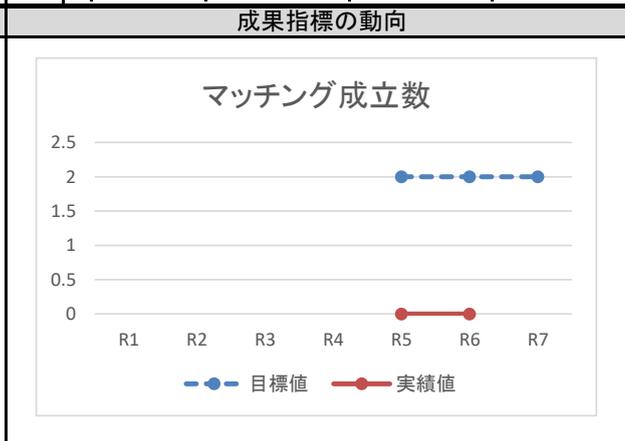
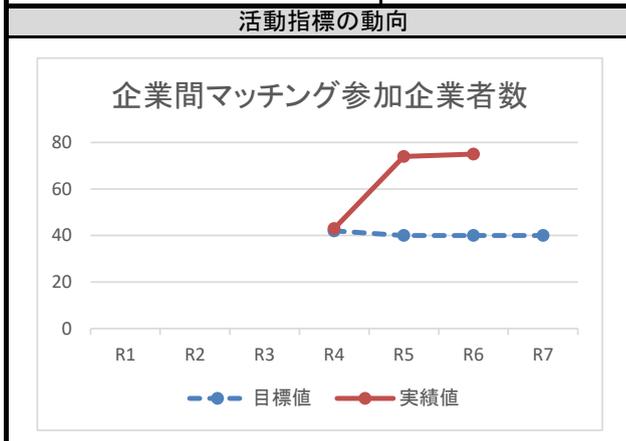
実施計画整理番号	
302020201	
総合戦略整理番号	12101

事務事業の概要 (PLAN)	食」をテーマとした関連事業者のマッチングイベントに参加した	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ちば共創都市圏広域連携協議会(千葉市、市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市)の事業として圏域内企業の優れた技術や製品等を紹介する。 中学生向けのパンフレット等を作成し、ものづくりや地元へ関心を持つよう促す。 既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

千葉市以東・以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	・マッチングイベントで 市内	千円	407	407	385		0	0			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	407	407	385						
	人工数	人		0.3		0.1					
	人件費	千円		2,298		798					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
圏域内企業の優れた技術や製品等の紹介及び既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。	企業間マッチング事業参加企業数	社	目標値 42	40	40	40
		実績値 43	74	75		
		目標値				
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
千葉市以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。	マッチング成立数	件	目標値	2	2	2
		実績値	0	0		



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	2	2	産業育成促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業

整理番号
302020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」をテーマとした関連事業者のマッチングイベントに参加した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
D: 実施していない・実施できなかった			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングイベントで、市内企業に興味を持つ参加者がいた。 <p>今年度はスタイルズの発行を行っていないので、以下は実施したと仮定して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生に市内企業を知ってもらう機会がある事は大きい。忘れないように定期的に市内事業者について知ってもらう機会を増やす必要がある。 ・小中高の時期に市内企業の実態を知ってもらうことが、将来的な地元企業への就職につながり、企業の人材不足解消に期待できるうえ、シビックプライドの醸成につながると考えられる。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングイベント参加企業及び参加者を増やしていく。 ・スタイルズを活用し、中学2年生だけではなく、幅広く周知していく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>企業間マッチングへの参加企業数は目標を上回っており、企業立地の促進等に一定の成果があったと認められる。引き続き、周知等に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	1	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
商工団体支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	02	4	商工団体支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

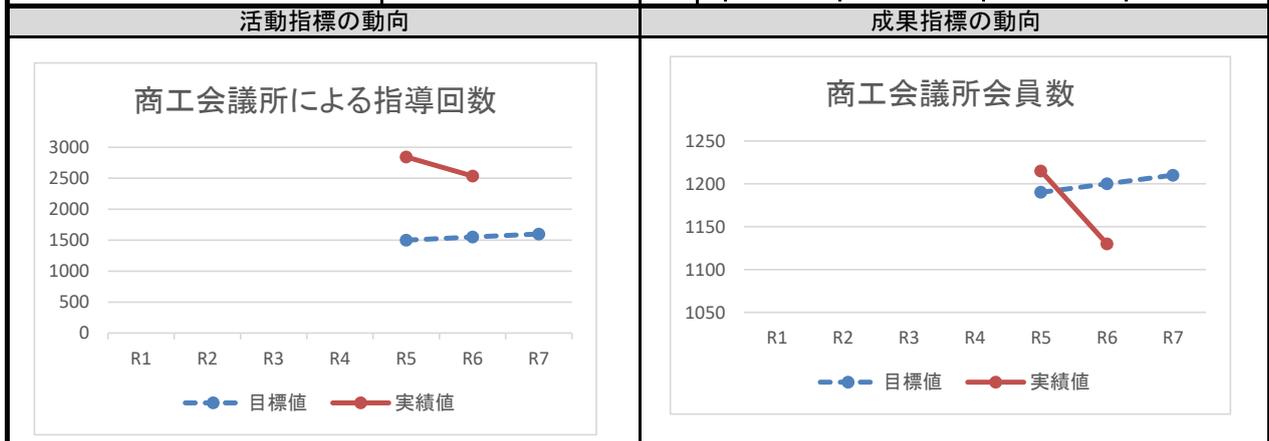
実施計画整理番号	
302030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・商工業振興のための事業や小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業を通じ、中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	・茂原商工会議所が実施する商工業発展のための事業及び小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業に対し補助金を交付する。 ・県内商工団体に加盟し、指定団地の高度化、県内経済に関する情報収集、他団体との連携を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を通じ、市内商工業者・小規模事業者の振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	8,893	8,893	8,891	7,393	7,393	7,393			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	8,893	8,893	8,891	7,393	7,393	7,393			
人工数	人		0.25		0.25						
人件費	千円		1,915		1,996						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を行う。	商工会議所による指導回数	回		1,500	1,550	1,600
				2,844	2,536	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	商工会議所会員数	者		1,190	1,200	1,210
				1,215	1,130	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	3	1	商工団体支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	4	商工団体支援事業

整理番号
302030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・茂原商工会議所が行う商工業支援のための事業を支援した。
- ・茂原商工会議所が行う小規模事業者の経営や技術の改善や発展のための事業を支援した。
- ・千葉県指定団地協議会や千葉県経済協議会に参加し、連携を図った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・物価高騰などの状況に対応した経営支援に向けて、引き続き茂原商工会議所と連携していく必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き茂原商工会議所の事業を支援し、市内商工業者の振興を図るとともに、より効果的な事業となるよう連携していく。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 商工会議所への支援により、市内事業者の振興に一定の成果があったと認めれる。引き続き適正な支援に努めるとともに、商工会議所との更なる連携を図っていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	2	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小事業者サポート事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	7	中小企業者等振興総合支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

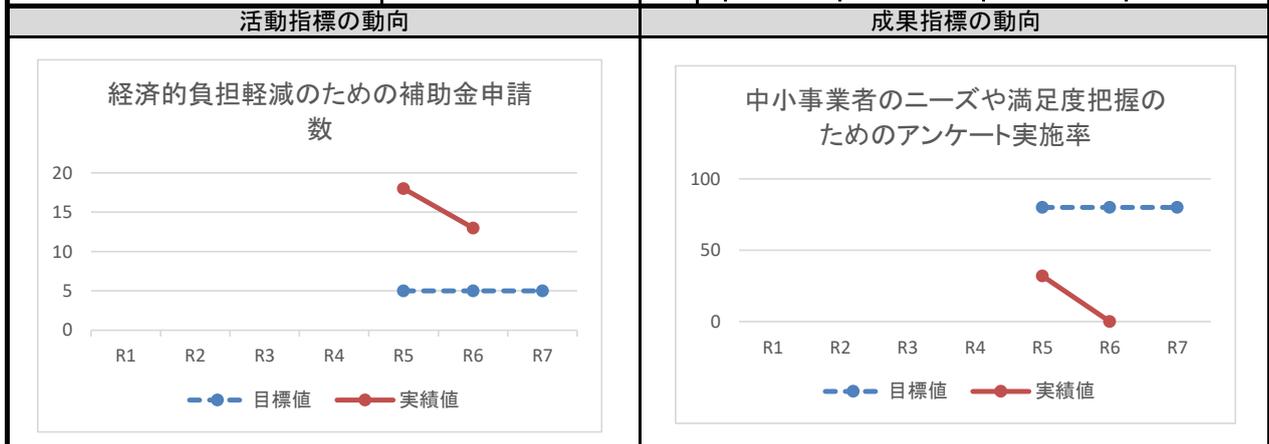
実施計画整理番号	
302030201	
総合戦略整理番号	12102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援し、事業活動の活性化を図る。	・中小企業が取り組む幅広い分野における事業活動の活発化に向け、包括的に補助金を交付し、経済的負担を軽減する。 ・必要に応じたメニューの見直し等を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

中小企業者が取り組む販路拡大、人材確保・育成などについて総合的な支援を行うことにより、持続的な成長や振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	ニーズを把握する	千円	2,309	2,309	2,198	1,852	1,852	1,575			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,309	2,309	2,198	1,852	1,852	1,575			
人工数	人		0.35		0.35						
人件費	千円		2,681		2,794						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援する。	経済的負担軽減のための補助金申請件数	目標値		5	5	5
		実績値		18	13	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内中小企業の事業活動の活性化を図る。	中小事業者のニーズや満足度把握のためのアンケート実施率	%	4年度	5年度	6年度	7年度



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	3	2	中小事業者サポート事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	02	中小企業者等振興総合支援事業

整理番号
302030201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市中小事業者サポート補助金を支給することにより、事業者の経済的負担を軽減し、事業活動を支援した。 ・小学校高学年とその保護者を対象に工場見学会を実施し、市内工業の大切さや面白さを直に感じてもらうことが出来た。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者のニーズを把握する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所と連携し、事業者のニーズ把握に努める。 ・ニーズに合わせて、柔軟にメニューの改善を図っていく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 補助金の交付等により、中小企業の支援に一定の成果があったと認められる。引き続き事業者のニーズ把握に努め、ニーズに合わせたメニューの変更に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	3	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小企業資金融資事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	01	中小企業資金融資事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

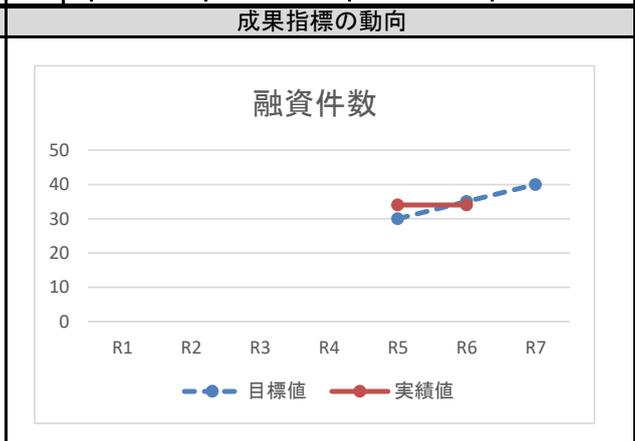
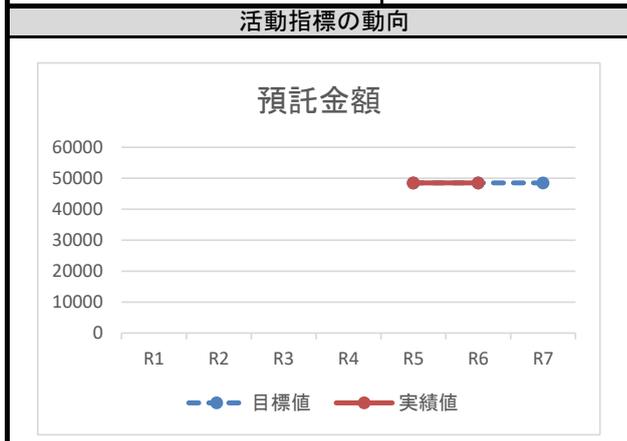
実施計画整理番号	
302030301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 大企業に比べ資金調達面で多くの不利益を抱えた中小企業が、事業資金の融資を円滑に受けられるようにすることで中小企業の振興と経営の安定化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内5行11支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

中小企業が事業上必要な資金を円滑に融資することにより、企業の振興と経営の安定化を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	融資制度とする	千円	500,240	500,240	493,998	500,753	500,753	494,543			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	485,000	485,000	485,000	485,000					
	一般財源	千円	15,240	15,240	8,998	15,753	500,753	494,543			
人工数	人		0.6		0.6						
人件費	千円		4,597		4,791						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> 市内5行11支店の金融機関に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。 	預託金額	千円	目標値	48,500	48,500	48,500
			実績値	48,500	48,500	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			件	30	35	40
企業の振興と経営の安定化を図る。	融資件数	件	目標値	34	34	
			実績値			



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	3	3	中小企業資金融資事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業

整理番号
302030301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市中小企業融資制度の原資として、市内金融機関に預託を行った。 ・茂原市中小企業融資制度の利用者に対して、利子補給を行った。 ・日本政策金融公庫小規模事業者経営改善資金融資制度(マル経)の利用者に対し利子補給を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・金利上昇の傾向があることから、事業者が利用しやすい融資制度とするため、申請から決定までの時間短縮を図る必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き融資及び利子補給により、中小企業者等の安定した資金調達、経営の安定と振興を図る。 ・融資決定までの過程の見直しを行い、申請から融資を受けるまでの時間短縮を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	
資金融資等により、中小企業の支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援を行っていただくとともに、融資決定までの過程について見直しに努めていただきたい。		

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	4	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
起業・創業支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	2	起業・創業支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
302030401	
総合戦略整理番号	11201

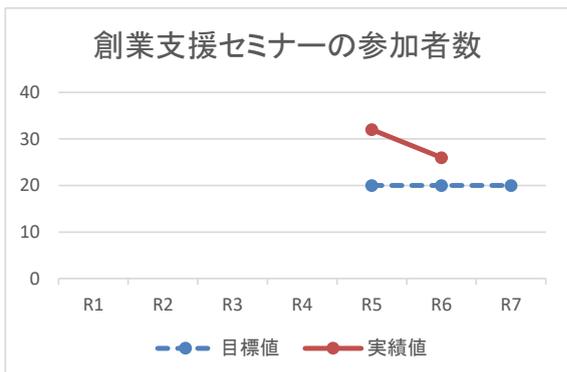
事業 事業の 概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市創業支援等事業計画に基づき、潜在的な創業希望者を掘り起こすとともに、本市における創業機運を醸成する。 ・創業者・創業希望者を対象に、創業における基礎的な知識から実践的な知識の習得を図る。また、創業者・創業希望者の交流機会を創出し、新たなネットワークを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業希望者に対して起業・創業の各段階に応じた継続的な支援を、商工会議所などの関係機関との連携強化及び相談窓口のワンストップ化などにより行う。 ・市内で起業・創業する者に対し、起業・創業時の経済的負担の軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

起業・創業希望者に対し学ぶ機会を確保することにより起業・創業の機運を高め、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

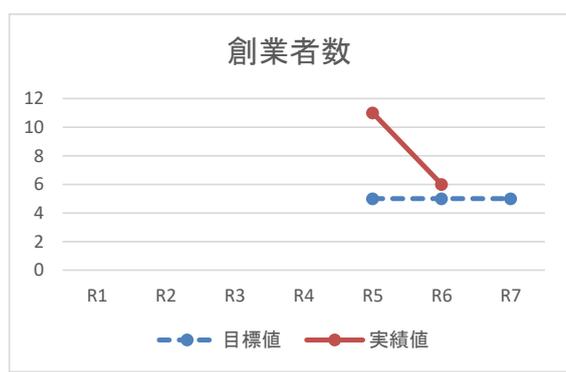
投入される 行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	いるが、創業後	千円	2,757	2,757	2,100	2,100	2,100	1,944			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,757	2,757	2,100	2,100	2,100	1,944			
	人工数	人	0.45			0.45					
	人件費	千円	3,447			3,593					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所が開催する創業支援セミナーを支援する。 ・新規創業者に対し補助金を交付することで経済的な負担軽減を図る。 ・各種媒体を活用し、創業支援制度のPRに努める。 	創業支援セミナーの参加者数	人	目標値	20	20	20
			実績値	32	26	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			5年度	6年度	7年度	
創業者を支援することで本市における開業率を向上させ、地域の活性化、雇用の確保を図る。	創業者数	件	目標値	5	5	5
			実績値	11	6	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	2	3	4	起業・創業支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	起業・創業支援事業

整理番号
302030401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所が開催した「茂原創業塾」の支援を行った。 ・茂原市創業支援補助金を支給し、新規創業者の事業活動を支援した。 ・「起業家交流会」を開催し、事業者間の交流を図った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
茂原創業塾修了者の創業は把握しているが、創業後の事業継続状況の把握も必要である。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	創業については、タイミングや準備等、業種や時代のニーズによって成功率に差が出てくるため、数年の状況で判断せず、創業の種をまき続けることが重要である。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	創業支援セミナーの参加者数・創業者数ともに目標値を上回っており、企業・創業の機運向上に一定の成果があったと認められる。引き続き支援に努めていただくとともに、事業継続状況の把握に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
3	3	1	1	シティプロモーション
実施計画事業名				
観光振興事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業
担当課・係等				
商工観光課 観光係				

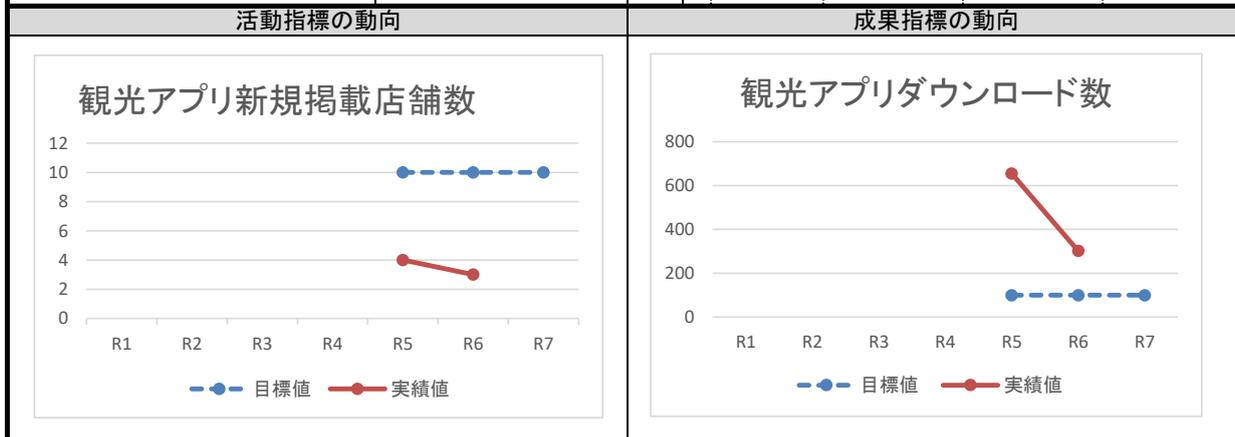
実施計画整理番号	
303010101	
総合戦略整理番号	32101

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 観光イベントの充実と広域連携による観光資源の整備により、まちの魅力を向上させるとともに効果的に情報発信することで、年間を通じて本市を訪れる観光客の増加を図る。 マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原七夕まつり実行委員会、茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会への補助金の交付。 ・観光ガイドブックやスマートフォン用観光アプリ、観光大使の活用によるまちの魅力発信。 ・各種関連団体への負担金の拠出。 ・マスコットキャラクターデザインの使用促進。 ・本市の認知向上のためイベントに参加する。 ・着ぐるみの利用促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

近年大量に集客する観光から個人のニーズを大切にする観光に変化しており、またコロナ禍による新しい生活様式に対応した「安全・安心」の観光へと急速に変化を求められている。個人趣向も複雑になっており、個性ある地域がこれから脚光を浴びる時代になった。新たな観光資源の開発、磨き上げを行うことで施策「観光資源の整備」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,711	18,711	17,844	17,701	17,701	17,000			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	41	41	29	23	23	35			
	一般財源	千円	18,670	18,670	17,815	17,678	17,678	16,965			
	人工数	人		1.9		1.9					
	人件費	千円		14,557		15,172					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市観光協会と協働し、本市の魅力を伝えるためのターゲットニーズに応えることのできる新しい観光パンフレット配架に加え、DXに対応したスマホによる観光アプリの利用者増加を図る。 ・モバリんのイベントへの積極的な参加を推進する。 	観光アプリ新規掲載店舗数	店	目標値 10	実績値 4	10	3
	モバリん出演回数	回	目標値 50	実績値 48	50	50
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> ・本市周辺だけではなく、広範囲に向けた効果的な情報発信による観光客誘致を図り、地域経済の活性化につなげる。 	観光アプリダウンロード数	回	目標値 100	実績値 655	100	302



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	3	1	1	観光振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業

整理番号
303010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光大使を就任させ、情報発信の強化に努めた。 ・中房総観光推進ネットワーク協議会において、新たに広域周遊マップを作成した。 ・九十九里市町村連携チームにおいて、広域周遊ルートを作成しモニターツアーを開催した。 ・観光協会において千葉県補助金を活用した、「宿泊割引」、「スタンプラリー」、「竹あかりの設置」、「三輪自動車トウクトウクの運行」、「もばらステーションフェスタ」を開催し、観光誘客を図った。 ・これまでの情報発信ツールに、市のLINE、Instagramなどを新たに加え、効果的な情報発信に努めた。 ・七夕まつりにおいて、近年の顕著な猛暑化に対応するため、救護所2箇所の設置、保健師の増員を行い、安全、安心な関東屈指の夏まつりとして開催した。 ・各種イベントでモバリんの着ぐるみを活用し、市のPR活動を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光アプリ新規掲載店舗数について、観光協会会員には概ねアプローチをした為、新規開拓が難しくなっている。 ・イベントを開催するにあたり、費用の高騰や熱中症対策が喫緊の課題となっている。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光アプリのクーポン機能等を活用した観光客誘致を図り、新たな会員の獲得に努める。 ・イベントの開催方法や開催時期、組織などを見直す。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 観光アプリの活用及び各種イベントを行ったこともあり、観光振興に一定の成果があったと認められる。引き続きイベントの開催及び情報発信に努めていただくとともに、時代に即した効果的なPRの検討に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	1	1	シティプロモーション	観光資源の整備
実施計画事業名					
ロケツーリズム事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	03	03	ロケツーリズム事業	
担当課・係等					
商工観光課 観光係					

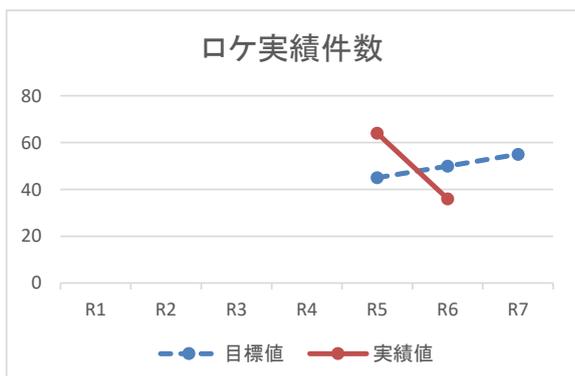
実施計画整理番号	
303030101	
総合戦略整理番号	32305

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	人口減少や高齢化が急速に進む中、地方都市の生き残りに向けた取り組みが大きく注目されている。そこで、地域のもつ魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、選ばれるまちとして関係人口・交流人口・定住人口の増加を図る。また、地域経済の活性化を図る。	平成30年度に策定したシティプロモーションの基本方針の考え方を引き継ぎ、地域の持つ資源の再認識や活用を行政だけでなく、市民や事業者と一体となり取り組む。その方法として映画やテレビドラマ等の撮影支援を活かしたロケツーリズムを通じたまちづくりを推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	様々な市民や事業者の参画を得ながらロケツーリズムを通じた観光振興により施策「観光資源の整備」に寄与する。	

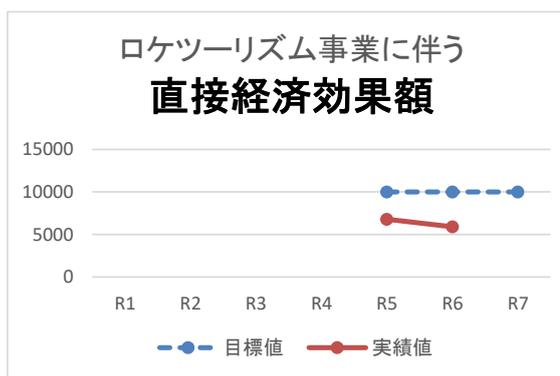
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	9,147	9,147	9,130	1,190	1,190	1,094			
財源内訳	国補助	千円	4,500	4,500	4,500						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,647	4,647	4,630	1,190	1,190	1,094			
人工数	人		1.9		1.9						
人件費	千円		14,557		15,172						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
映画やテレビドラマ等の撮影支援を活かし、新たな観光資源の開発を行う。	ロケ実績件数	件	目標値	45	50	55
		実績値	64	36		
	宿泊者数	人	目標値	70,000		
		実績値	79,500			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
ロケ受け入れだけでなく、ロケ地の観光資源化による観光業の活性化、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、地域経済の活性化を図る。	ロケツーリズム事業に伴う直接経済効果額	千円	目標値	10,000	10,000	10,000
		実績値	6,300	5,900		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	3	1	1	ロケツーリズム事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	03	ロケツーリズム事業

整理番号
303030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内書店や図書館に、ロケ地紹介コーナーを設置してもらい、市内で撮影された作品の本の販売、貸出を行った。 ・ロケ地見学会を開催し、撮影時の説明やなりきり写真の撮影会、ロケ弁の販売を行い、市民への浸透を図った。 ・神奈川大学、東海大学、常磐大学、法政大学、目白大学の学生から卒業論文の問い合わせが相次ぎ、市の取り組みについて説明を行い、市外の大学生に情報発信を行った。 ・ロケツーリズム事業については、撮影問合せ件数171件、撮影決定件数36件となり、宿泊やロケ弁当など、市内で消費された直接経済効果は590万円となった。 ・エキストラ、シンポジウムなどに多くの市民が参加した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・撮影に係る経済効果だけではなく、撮影支援した作品を活用した地域振興と経済の活性化が必要。 ・ロケ地の不足により、撮影支援の全ての要望に答えられていない。 ・PRなどをする際に、撮影支援をした一部の作品に依存している。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影支援を行った作品を活用した地域経済活性化手法を検討する。 ・新たなロケ地の発掘を行う。 ・人材育成を行うことで、大きな作品の受入れ体制を強化する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 映画やテレビドラマ等の撮影支援により、ロケツーリズムを通じた観光振興に一定の効果があったと認められる。引き続きロケの受け入れを行っていただくとともに、撮影支援後の地域経済活性化手法や人材育成についても検討いただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	4	1	2	雇用	雇用の充実
実施計画事業名					
労政対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	01	02	労政対策事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

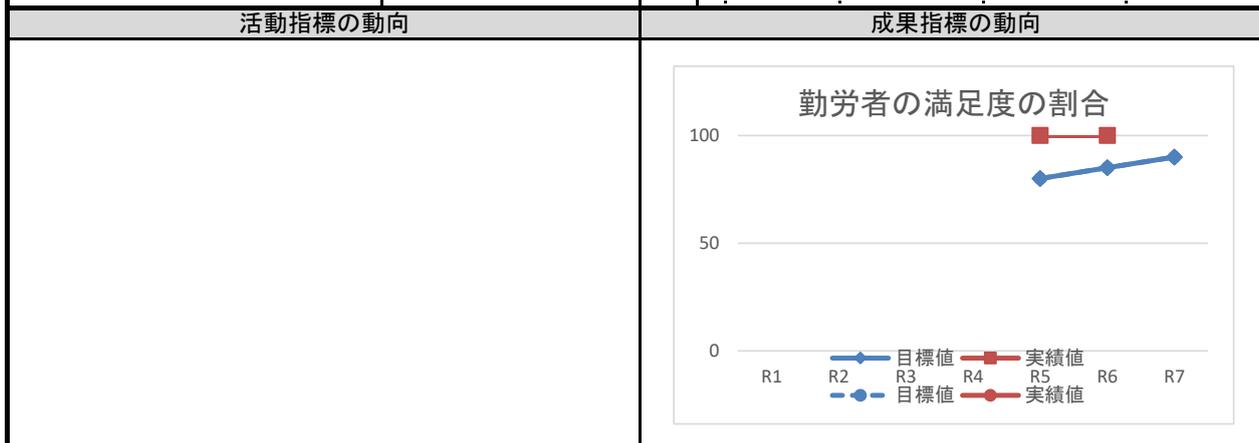
実施計画整理番号	
304010201	
総合戦略 整理番号	

事業 概要 (P L A N)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者に対する福祉事業の支援と厚生資金の円滑な融資により、豊かでゆとりのある生活の実現を目指す。 事業者においてテレワークを推進している中、安心して利用できるテレワーク環境を整備し、多様な働き方を支援することを目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者のための各種福祉対策事業を実施している長生茂原地区勤労者福祉協議会(労福協)に補助金を交付する。 市庁舎1階のレストラン(旧アゼリア)の厨房機器を撤去し、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた様々な用途に利用できるフリースペースとして整備することを進めている。そのフリースペースに快適なインターネット環境やオンライン会議に対応できる無線LAN環境及びコワーキングスペース(クローズ型ワークスペース)を設置し、管理を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

・労福協の開催するレクリエーションや文化活動による、茂原市に居住または勤務する労働者や家族の福祉増進や、多様な働き方に対応できる環境の整備により、施策「雇用の充実」に寄与する。

投入される 行政コスト (D O)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	261	261	261	261	261	260	
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	261	261	261	261	261	260			
	人工数	人		0.4		0.4					
	人件費	千円		3,064		3,194					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> 勤労者及び家族の福祉増進につながるレクリエーションや文化活動のための補助金交付 多様な働き方に対応できるテレワーク環境の整備 		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値		80	85
<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の経済的・社会的・文化的満足度の向上 働く場所にとらわれない、柔軟で誰もが活躍できる社会の実現的満足度の向上 	勤労者の満足度の割合	%	実績値	100	100	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
3	4	1	2	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

整理番号
304010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉労働局茂原公共職業安定所と連携し、再就職希望者を対象とした相談会を開催した。 ・長生茂原地区労働者福祉協議会が実施する福利厚生事業を支援した。 ・市役所1階に設置したコワーキングスペースの無線LAN環境の整備・管理を行い、多様な働き方を支援した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースの利用が思った以上に多く、ペジブルの出店と相乗効果もあり、多様な働き方に対する支援が出来た。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	無線LANのトラブルが見受けられるので、コワーキングスペースの快適な利用状況の維持のため、機器の維持管理をしっかりと行っていく。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	
勤労者に対する各種施策・環境整備により、勤労者の満足度向上に一定の成果があったと認められる。引き続き機器の維持管理を行っていただくとともに、効果的な周知方法について検討していただきたい。		